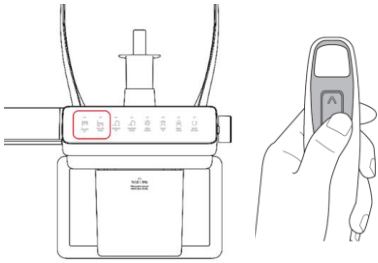


Green X 18 : CBCT

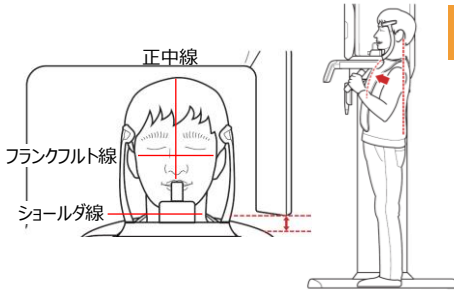
撮影の前に:

眼鏡、金属製のアクセサリ（ネックレスやイヤリング、髪飾り）、義歯およびマウスピースを外してください。



システムの初期化及び高さの調整

前面の制御盤またはセファロ板の上下ボタンを利用して、チンレストの高さが患者様の顎下になるように合わせて下さい。



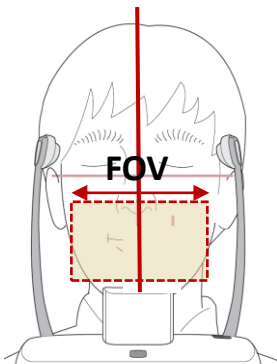
正しい姿勢

患者様の正中が正中線に合うように誘導して下さい。
 ハンドルを軽く握り、患者様の頸椎と脊椎が床と垂直になるように立っていただき、胸が装備に当たる位置まで案内します。
 患者様の咬合平面が床と並行になるようにして下さい。
 装置と患者様の間に邪魔になるような物がない事をご確認下さい。

歯科用CTからの映像獲得の基本原則

撮影映像の領域はFOV Sizeのもとに

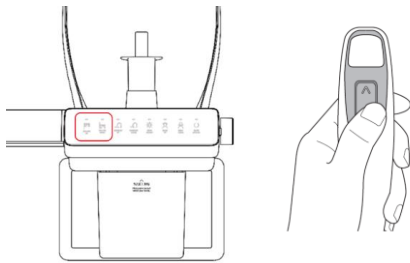
- ① 患者様の顔の正中にミッド・サジタルガイドビームを合わせて下さい。そこがFOVの中心になります。
- ② フランクフルトビームが眼耳平面に合っているかをご確認下さい。



Green X 18 : パノラマ

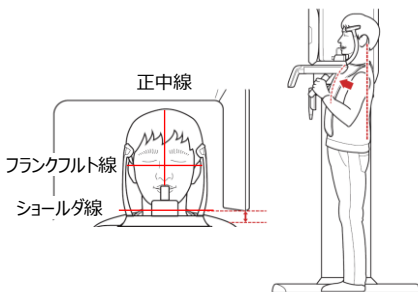
撮影の前に:

眼鏡、金属製のアクセサリ（ネックレスやイヤリング、髪飾り）、義歯およびマウスピースを外してください。



システムの初期化及び高さの調整

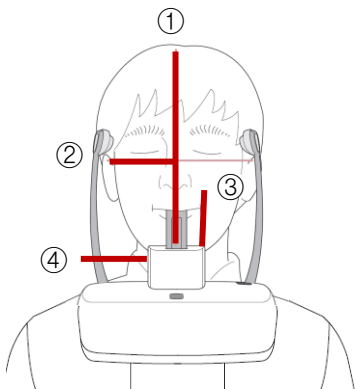
前面の制御盤または柱のコントローラスイッチの上下ボタンを利用して、チンレストの高さが患者様の顎下になるように合わせて下さい。



正しい姿勢

患者様の正中が正中線に合うように誘導して下さい。
 ハンドルを軽く握り、患者様の頸椎と脊椎が床と垂直になるように立っていただき、胸が装備に当たる位置まで案内します。
 患者様の咬合平面が床と並行になるようにして下さい。
 装置と患者様の間に邪魔になるような物がない事をご確認下さい。

ガイドビームの調整



① ミッド・サジタルガイドビーム

ミッド・サジタルガイドビームを患者様の顔の中心に合わせます。

② フランクフルト平面ガイドビーム

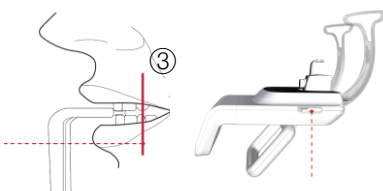
外耳道の上行と眼窩下孔にガイドビームが合うように、チン・サポート機能を使用して細かく高さを調整します。

③ 犬歯ガイドビーム

チンレストの下にあるスライドノブを利用して、犬歯ガイドビームを左の犬歯の中心に合わせます。

④ ショールダビーム

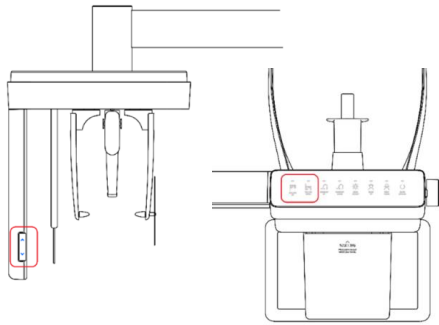
Rotatorの先端を表記するビームで、肩がこの線の下になるように患者を案内して下さい。この線の上はRotatorとぶつかる恐れがあります。



Green X 18 : セファロ

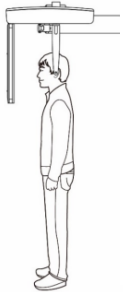
撮影の前に:

眼鏡、金属製のアクセサリ（ネックレスやイヤリング、髪飾り）、義歯およびマウスピースを外してください。



システムの初期化及び高さの調整

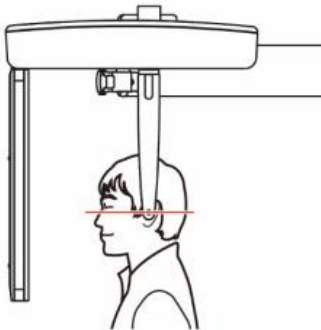
前面の制御盤またはセファロ板の上下ボタンを利用して、イヤーロッドを患者様の耳穴に合わせ下さい。



正しい姿勢

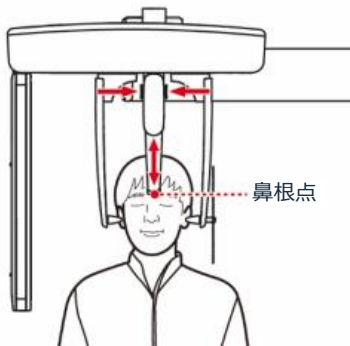
撮影方法を指定してから、患者様を次のように誘導して下さい。

- ・脊椎とイヤーロッドのバーが平行になるように立ちます。
- ・両肩の高さを揃え、肩の力を抜きます。
- ・イヤーロッドは勢いよく奥まで挿入しないで下さい。



フランクフルト・ラインのヘッドチルト調整

フランクフルト・ラインは眼窩下孔と外耳道の上行が床と並行になるように患者様の頭部を傾かせて調整します。
奥歯で咬むよう指示をし、撮影を行います。



ノーズポジショナーの調整

ノーズポジショナーを患者の鼻根点に合わせます。
ノーズポジショナーの高さは調整可能です